

日露対話「複雑化する北東アジア情勢と日露協力の可能性」のご案内

この度、公益財団法人日本国際フォーラム（JFIR）およびグローバル・フォーラム（GFJ）は、ロシア科学アカデミー（RAS）および同極東支部（FEB RAS）との共催により、2018年12月4日（火）に東京で、日露対話「複雑化する北東アジア情勢と日露協力の可能性」を開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

近年の北東アジアは、中国が米国との摩擦を強めながら、対外進出を強化している他、朝鮮半島では、史上初の米朝首脳会談の実現なるも、北朝鮮の非核化は進まず、また米韓軍事演習が中止されたことで地域のパワーバランスに微妙な不均衡が生じております。また、この地域のもう一つの大国であるロシアでは、本年3月の大統領選勝利によって2024年までの長期政権の座を約束されたプーチン大統領の動向が注目を集めています。日露間では、第二次世界大戦終了後70年以上が経過しても、未だに平和条約が締結されていないという「異常な状態」が続いており、それゆえ、この激動する北東アジア情勢を前に、両国の協力は進展していないのが現状です。したがって私たちは、相互の不信が根強いままでの両国の協力には自ずと限界があることを認識しつつ、その上で未来志向の日露関係を構想する必要があるといえます。

このような問題意識の下、今回の対話では、ロシア側から、ヴァレンティン・セルギエンコ RAS 副総裁、ヴィクトル・ラーリン FEB RAS 副会長、ヴィクトル・ゴルチャコフ・ロシア沿海地方議会議長など、同国同地域を代表する論客を東京に招聘し、袴田茂樹（JFIR 評議員）、森本敏（JFIR 理事）、宮家邦彦（JFIR メンバー）、細谷雄一（慶應義塾大学教授）など日本を代表する論客との間で縦横に議論を交わします。なお、本対話は、出席者全員がパネリストに伍して自由に討論することを原則としておりますが、専ら聴衆として参加されることも歓迎致します。また、当日は日本語・ロシア語の同時通訳が入ります。

つきましては、ご出席可能な方は、11月30日（金）正午までにメール(dialogue@gfj.jp)にてグローバルフォーラム事務局宛（担当：高畑）にその旨をご返信ください。また、グローバルフォーラムのホームページ上（<http://www.gfj.jp/j/>）から直接お申し込みいただくことも可能です。なお、会場収容能力を超える応募がある場合には、先着順で締め切らせて頂くこともあり得ますので、予めご了承ください。

お申し込みにつきましては、定員に達したため受付を終了いたしました。（2018/11/12）

記

日露対話「複雑化する北東アジア情勢と日露協力の可能性」

（別添：[プログラム](#)）

1. 日時：2018年12月4日（火）13:00 - 16:30（開場は12時半）
2. 場所：国際文化会館「講堂」（東京都港区六本木 5-11-16 電話：03-3470-4611）

お申し込み受付は終了しました

<本対話に関するお問合せ先>

グローバル・フォーラム事務局 担当：高畑
（港区赤坂 2-17-12-1301、TEL：03-3584-2190）